

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	3214
部 名	土木部	課 名	道路管理課		課長名	淡野 浩
事務事業名	取得済国有財産登記事業					
予算上の事務事業名	国有財産取得事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32320		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第3節 円滑な道路交通の確保				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 道路管理の充実				平成10年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市有財産条例施行規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
	取得した国有財産について、無地番の道路敷を表示・保存登記することにより、第三者に対し所有権を明確に出来る。また、取得した際、既に有地番であったものについても所有権移転登記を行うことで同様の効果がある。				(2) 対象(誰、何)	
					取得した旧国有財産(有地番および無地番)	
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
	公共嘱託士地家屋調査士協会および同司法書士協会に委託し、事業実施した。 表示登記書類作成 法務局への申請件数 39件(97筆) 対象面積 6298.1㎡ 所有権移転登記書類作成 法務局への申請件数 36件(528筆)					
6 関連・類似事業や他市の状況	県内自治体では委託による同様の事業はなし。					
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	14,965	9,705	7,249	5,679	5,679	
一般財源	14,965	9,705	7,249	5,679	5,679	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	1,111	725	711	570	570	
事業コスト合計(a)	16,076	10,430	7,960	6,249	6,249	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	取得済国有財産登記事業			対象名称(単位)	申請件数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	16,076	10,430	7,960	6,249	6,249	
対象数	127	96	75	54	54	
単位あたり経費(円)	126,583	108,646	106,133	115,722	115,722	
前年度比		0.86	0.98	1.09	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	申請件数	指標式と指標の説明		委託指示件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	127.0	96.0	75.0		
目標	127.0	96.0	75.0	54.0	54.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	申請件数	指標式と指標の説明		実際に申請した件数 / 委託指示した件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	127.0	96.0	75.0		
目標	127.0	96.0	75.0	0.0	0.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		事業の進め方が画一的で工夫が見られない。 優先順位の高いものから、事業推進を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 取得した国有財産で処分可能な道路敷を優先して登記図書作成、申請して財源確保につとめる			14 課題として認識されたこと 従来は地域を決め統一的に登記図書、作成し申請したが17年度以降は処分可能な道路敷を優先的に登記申請し処分に進めていく		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			